



左: フォアデッキには、U字形のラウンジスペースが設けられている。左右のクッションのサイズは大きく、サンベットとしても活用することができる  
中: フライブリッジのヘルムステーション。各種航海機器のパネルがコンパクトにまとまっている。右端にはボルボ・ペンタIPSのジョイスティックが見える  
右: トランサムの位置まで延びたフライブリッジには、広大なスペースが広がる。フォアデッキ、アフトデッキを含め、快適に過ごすために無駄なく空間が活用されている

# ABSOLUTE 47 FLY

アブソルート47フライ

斬新な発想とデザインで新たなトレンドを生み出す

アブソルートの主力シリーズである「FLY」。

2020年モデルとしてデビューした「47FLY」は、さらなる進化を感じさせる。

トレンド最先端を行くモデルとして、高い評価を得ている。

文=安藤 健 写真=アブソルート

text by Ken Ando, photos by Absolute S.p.A.

イタリア北部、ビアツエンツァに拠点を構えるアブソルート(Absolute S.p.A.)。2002年創業と、比較的新しいビルダーながら、その独創的なデザインと、最先端のテクノロジーを駆使した造船技術から、瞬く間に世界のボーティングシーンの最前線を彩る存

在となった。「アイデア→デザイン(設計)→生産→販売」という一連の業務を、高いスキルを持つ自社スタッフで完結できる点が、ビルダーとしての成長とマーケットでの認知を大いに後押ししただろうことは、想像に難くない。

そのアブソルートの人気シリーズが、フライブリッジを備えた「FLY」シリーズだ。正調のヨーロピアンスタイルを継承しつつ、随所に新しい発想を取り込んだデザイン、そしてスポーティーかつゆとりあふれる走りを備え、トレンドセッターとしての地位を摇る



O V E R V I E W



左:この位置にギャレーを配置することで、ハウス後部のスライドドアと窓を開ければ、船内外が一体化した開放的な空間が生まれる。まさに水に浮かぶコテージ  
中:大型のウインドーを採用することで、船内にいてもご覧の通りの景観が広がる。センスよくまとめられた木工に、イタリアンボートの粋を感じる  
右:ローワーデッキ、船首部分に配されるマスターステートルーム。バウにボリュームを持たせた船型のおかげもあって、ゆとりあふれる空間に仕上がっている

ぎないものとしている。

2019年のカンヌ・ヨッティングフェスティバルにおけるワールドプレミアでお披露目されたのが、この「47フライ」だ。シリーズでは最小のエントリーモデルという位置付けにあるが、最先端のラグジュアリーヨットとしての魅力が詰まっている。

なんといってもインパクトがあるのが、エクステリア。ハウス側面のほぼ全面にミラーガラスが配され、スタイリッシュな雰囲気を醸し出している。このサイドウインドーに加え、フロントウインドー、後部のドアと、大型のガラスが採用されていることで、船内はほぼ360度が見渡せる、明るく開放的な空間となっている。フライブリッジは船尾まで延び、このサイズのボートとしては最大級の広さを誇る。サンベイジングエリアやギャレー&コンロ、冷蔵庫などもそろっており、走行中のみならず、さまざまなシーンでくつろ

ぎの時間を演出するスペースとなっている。

ローワーデッキは、前方からマスターステートルーム、ミジップにVIP向けのステートルームとクルー向けキャビンという配置。マスターステートルームのベッドは斜めに配置され、最大限のゆとりを持たせる工夫が施されている。また、キングサイズのベッドが配され

たVIP向けステートルームについても、広さ、仕上がりとも、もう一つのマスターステートルームと呼んでいいものだろう。

パワーユニットは、ボルボ・ペンタ D6-IPS650(480PS/353kW)の2基掛け。最高速度30ノット近い速度を実現し、スポーティーかつ快適な走りが楽しめる。

#### SPECIFICATIONS

##### ABSOLUTE 47 FLY

○全長:14.63m ○全幅:4.48m ○喫水:1.25m  
○排水量:23トン ○燃料搭載量:1,600L  
○清水搭載量:530L  
○エンジン:ボルボ・ペンタ D6-IPS650  
(480PS/353kW)×2

問い合わせ:  
テクノマーレインターナショナル  
〒336-0965 埼玉県さいたま市緑区間宮607-1  
TEL:048-878-6806  
<http://www.tecnomare-yachts.co.jp/>

